

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・東京オリンピックが近づくにつれて、ますます盛り上がってくる。
		一般レストラン（従業員）	・4月は、雨が降ったり、寒くなったりで客足に痛手となるのが重なった。5月からは、このようなことはないと思われる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・曜日や場所によって売上が良くなる日もあり、今までより若干良い。
		百貨店（売場主任）	・客の様子を見ていると、イベントがあるから購入するのではなく、欲しいから購入するという客が多い。月末に自社カードのポイントアップを開催したが、購買欲のある客はそれとは関係なくイベント前から来店しており、少しずつ売上も増加している。景気は少し良くなっている。
		百貨店（経理担当）	・株価からも景気の先行きには明るい兆しがみられ、これに伴って消費マインドも上向く。
		百貨店（販売促進担当）	・株価高が続く限り、好況感が続く。
		百貨店（販売担当）	・ボーナス支給による購買意欲の上昇が見込まれる。
		百貨店（営業企画担当）	・前年の消費税増税の影響もあるが、前年比がプラスとなることは好印象で、前向きな気分になることが景気を押し上げる。
		スーパー（経営者）	・人手不足で、7月頃には主婦を始め学生等のアルバイトの時給が確実に上昇する。所得が徐々に増え、夏の賞与も増額が見込める。家計の消費額が増え、各種の小売業でも業況は良くなる。
		スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークの来客数は伸び悩んでいるが、例年客足が伸びる8月の長期休暇には期待したい。
		スーパー（店長）	・春闘で、大企業だけでなく、中小企業もベースアップの効果が、期待できる。
		スーパー（店長）	・販売している生鮮商品の良さや、その他一般商品の価格の安さを消費者が魅力として感じている。
		スーパー（店員）	・スイカや枝豆等の夏物青果がこれから入荷してくるので、良い方向に向かう。日照不足で、野菜の価格が少し上がっているのが気掛かりである。
		スーパー（総務担当）	・客からは、早くもお中元の品の引き合いが多い。
		スーパー（支店長）	・アベノミクスの効果が高まることを期待する。
		コンビニ（企画担当）	・地元自治体の首長は、政策的に地域人口や交流者数を増やす考え方を持っている。
		コンビニ（エリア担当）	・米飯類の売行きに、上向きの傾向がみられる。
		コンビニ（エリア担当）	・新たな販促活動や品ぞろえの強化で、ゴールデンウィークから夏季にかけては、客単価の上昇と来客数の増加を見込む計画である。
		家電量販店（店員）	・景気が良くなる国内の要因として、ベースアップが見込まれる。物価の上昇も一段落し、消費者も値上がり後の価格に慣れてくる。
		家電量販店（店員）	・前年は消費税増税後に消費が鈍化して、なかなか回復しなかったが、今年は消費を押し下がる要因が、今の段階では見当たらないので、この先は良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・当地域は、自動車や航空産業等、円安の恩恵を受ける企業が多いので、ベースアップも大きい。
		乗用車販売店（経営者）	・5～6月のボーナス商戦に向けて、各社で車種のマイナーチェンジをするため、購買意欲も高まる。
乗用車販売店（従業員）	・期待感を含めてであるが、夏の賞与の支給状況によって、景気は上向きに変わることもあり得る。		
乗用車販売店（従業員）	・商談での客の勢いと雰囲気からは、先行きは良くなる。		
乗用車販売店（従業員）	・今の動きであれば、大きな自然災害等のような特殊要因がない限り、3か月後は多少景気が上向いている。		
乗用車販売店（総務担当）	・人手不足感が出てきており、昇給が広く実現すれば消費にも良い影響が表れる。		
住関連専門店（営業担当）	・住宅リフォームや民間工事の大規模改修が多い。また、分譲住宅や持家住宅も増加している。公共工事は非常に多くなっている。		
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・首相の訪米と共に、アベノミクスに弾みがつくことを期待している。		
その他専門店〔雑貨〕（店長）	・新店舗がオープンしたことで、来月もやや良くなるという見通しである。		

	その他専門店〔雑貨〕 (店員)	・季節の変わり目となり、客の必要とする物が変わり、購入量が増える。
	その他専門店〔貴金属〕(営業担当)	・客から、購入単価が少し高くても、より良い物を買いたいと言われることが多いと感じる。
	高級レストラン(役員)	・5月からの連休の予約状況は、前年比で増加傾向にある。休日を中心に客足が戻りつつあると感じる。
	観光型ホテル(経営者)	・前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動が、2～3か月もすればなくなるので、今の非常に悪い状況よりは少し上向く。製造業を中心に景気の良い企業もあるので、時間はかかるが個人消費が増加する。期待も含めて先行きはやや良くなる。
	都市型ホテル(支配人)	・季節要因と共に、仕入価格の大幅な上昇と人材確保の難しさで、身の回りの経営環境は、厳しさを増している。
	都市型ホテル(営業担当)	・今よりも悪くなる要素が見当たらない。
	都市型ホテル(経理担当)	・インパウンドの需要増加が見込まれる。
	旅行代理店(経営者)	・最近の社会情勢には、特に不安も感じられないので、先の景気は少しは良くなる。
	旅行代理店(経営者)	・夏休みの予約や問い合わせ件数が増えているので、やや良くなる。
	タクシー運転手	・足元では法人のチケット利用が増加しているので、この状況が1～2か月続けば、先行きは明るくなる。
	タクシー運転手	・春闘ではベースアップもあり、ボーナスも、特に大手ではかなりアップするという情報がある。ボーナスシーズンに入れば、タクシーの利用客も増えると期待している。
	通信会社(営業担当)	・販売量の増加傾向が、まだ続くと思われる。
	美顔美容室(経営者)	・4月からのキープキャンペーンで、新規客が増えることを期待している。
	美容室(経営者)	・2、3月から今一つの状況が続いているので、6月頃には、髪が伸びて手入れをしたくなる客が出てきて、忙しくなる。
	設計事務所(経営者)	・相談案件が若干増加している。現状では実施設計までに至る件数は少ないが、期待はできそうである。
	住宅販売会社(従業員)	・契約数は、徐々に上向いている気がする。
	その他住宅〔室内装飾業〕(経営者)	・リフォーム工事等、個人客からの引き合いが増加しており、数か月後には売上実績に結び付くと考えている。
変わらない	商店街(代表者)	・法人等の領収書を求める客が少なく、必要な物以外は買わないという状態が、ずっと続いている。
	商店街(代表者)	・景気が良くなりそうな気配も要素もなく、現状のまま推移していく。
	商店街(代表者)	・今の状況が変わる要因がない。
	一般小売店〔結納品〕(経営者)	・小売業では、客の動きがほとんど変わらない。
	一般小売店〔生花〕(経営者)	・少しずつは良くなっていくと思うが、急激には変わらない。
	一般小売店〔土産〕(経営者)	・大きくは変わらない。良くなる気配はあまり感じられない。
	一般小売店〔酒類〕(経営者)	・飲食店の話によると、中小企業のオーナーには経費削減の傾向がみられる。個人相手の店では、今年もゴールデンウィーク明けは支出を抑える傾向が続く、景気が回復する材料がない等と聞いている。特に若い人は、法人接待でも個人消費でも、アルコール類を一層飲まなくなる傾向である。
	一般小売店〔薬局〕(経営者)	・これまで同様、当地方は不景気のままである。個人の陶器店では廃業がまだまだ見受けられる。必要な物しか買わない消費者が増え、景気は良くなりそうにない。マスコミが報じている給料やボーナスが上がったという話題は、大企業だけである。小規模店では、ボーナスを払えないとの悲鳴が聞かれる。
	一般小売店〔書店〕(経営者)	・取り立てて悪くも良くもない。徐々に上向きにはなっているのは確かであるが、客の動きを見ていると、劇的に変わる要素はない。
	一般小売店〔贈答品〕(経営者)	・これから贈答品店ではお中元の売上が伸びる時期であるが、3か月前と比べて業績は変わらない。製造業を中心に、一部の法人向けの売上は増加しているが、物販関連の企業では、財布のひもが固い状態が続いていく。売上としては変わらないが、客先の構成別に見れば、依然として格差がある。
	一般小売店〔自然食品〕(経営者)	・値上がりする商品が頻繁に出てきている。景気の上昇感よりも、物価が影響の方が体感的には大きいいため、消費も控える方向になる。

一般小売店〔食品〕 (経営者)	・客の買物の仕方は非常に控えめで、土産品を買う客は多くない。身の回りの景気はこういった状況が続いており、先行きも回復にはまだまだ遠い。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・先行きがどうなるか非常に不透明である。先行きが良くなる可能性も、悪くなる可能性もあり、わからない。
百貨店(企画担当)	・消費税増税から1年となり、株価は上がっていることから、高額品には動きはみられる。しかし、衣料品や雑貨等の一般商品の動きは芳しくない。この状況は今後も続く。
百貨店(経理担当)	・賃上げ、株価上昇という好材料があるものの、客の様子にあまり変化がみられない。
百貨店(販売担当)	・製品作りや提案の仕方が、利幅の大きい高額品か、あるいは利幅は少ないが見込める低価格品のいずれかになっており、中間帯の価格に見合った生産に対応できず、消費者の購買意欲を高める打ち手が、各企業ともに出せない。中間価格帯の商品は、兆しを見つけてから市場がボリューム化するまでに時間を要するため、当面は厳しい状況が続く。
百貨店(経営企画担当)	・インバウンドという好調要因はあるものの、衣料品の厳しさは今後も続くと考えられる。高額品需要も、一服感が見えつつある。
スーパー(店長)	・消費税増税の影響が広がり、来客数に響いて売上確保には苦戦が続く。他社も苦戦しているためか、低価格品のチラシが目立ち、今後も価格訴求型のチラシ攻勢が続く。
スーパー(店長)	・給料も徐々に増えつつあるが、それ以上に値上がりする商品が非常に多く、客にとっては、消費できる金額が徐々に減っている。今後、値上げがどこまで進むかによって、景気の先行きも変わってくる。
スーパー(店員)	・今のところ、景気が良くなる兆しがない。
スーパー(販売促進担当)	・近隣の中小企業からは、景気が良いとの声が聞こえてこない。自店のパート従業員の声を聞いても、良くなっているという話はない。
スーパー(商品開発担当)	・競合店の一層の出店により、来客数の減少が見込まれる。しかし、世間の景気上昇傾向を考えると、客単価は現状維持か、やや上昇が見込まれるため、トータルの見通しとしては変わらない。
スーパー(販売担当)	・先行きが良くなる材料が、今のところない。
スーパー(営業企画)	・品質重視の購買行動による1品単価の上昇傾向は、当面は変わらず続くと見込まれる。
コンビニ(店長)	・今のところ、変化の兆しがない。しかし、客先の運送業や建設業等では人員不足が顕著で、景気の回復傾向がみられる。
コンビニ(エリア担当)	・今月と同様に店舗売上が前年同期を上回る状況が、今後も続くと思われる。
コンビニ(店長)	・4月後半には客単価の低下傾向に歯止めがかかり、若干ではあるが上昇もみられる。
コンビニ(店長)	・来客数の動き等を見ていると、これから良くなるような環境ではない。
衣料品専門店(経営者)	・客の様子では、バーゲン時でも、一般客の購買には商品価格の水準が高いようである。なじみ客に頼る売上では、来客数によって大きく左右される。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)	・4月の1か月の結果だけでは、まだ景気が回復したと判断ができない。
家電量販店(店員)	・健康に関する商品の売上は伸びてきているようにも感じるが、金額がそれほど伸びない。
乗用車販売店(経営者)	・積極的な消費は少なく、支出に対して慎重な姿勢は続くと思われる。
乗用車販売店(経営者)	・良くなる要素は見当たらない。
乗用車販売店(従業員)	・5～6月は、新車販売では厳しい月であるが、今年に関しては、2～3月に自動車税増税前の駆け込み需要がなかったためか、前年同期のような落ち込みは感じられず、例年並みの販売台数は期待できる。
乗用車販売店(従業員)	・新型車種の試乗車も準備が進み、客にいかにか足を運ばせるかがポイントとなりそうである。他社でも様々な新型車種が登場しているので、相乗効果を期待したい。
乗用車販売店(経理担当)	・非常に厳しい状況である。販売量に回復の兆しがないのは、地方の景気が回復せず、停滞しているためとしか思えない。
一般レストラン(経営者)	・これといって良くなる材料がない。特に中小企業としては、良くなる材料がない。

スナック（経営者）	・客には年金生活者が多く、財布のひもはなかなか緩まないため、先行きが明るくなる見込みはない。
都市型ホテル（経営者）	・来客数も単価の動きも良くないため、景気が良くなるとは思えない。
旅行代理店（経営者）	・4月に入って販売量が増え、しばらくはこの状態が続く見込みである。ただし、天候や経済情勢の変動でいつ停滞するかはわからない。
旅行代理店（経営者）	・ガソリン価格が上昇傾向にあり、客の様子も良い状態には見えないので、現状のあまり良くない状況が続くと思われる。
旅行代理店（経営者）	・全国的に景気が良いのは、円安のメリットを受ける企業か、訪日外国人向けの仕事であって、日本人向けの仕事ばかりのところでは、景気回復の恩恵は受けられない。
旅行代理店（従業員）	・今年の春闘では中小企業を含めてベースアップが期待されるが、賃金の上昇分は、レジャーよりも貯蓄に回る方が多い。
旅行代理店（従業員）	・ホテルやバス等への支払料金は値上がりしているが、その分、旅行代金を引き上げるかはケースバイケースで、上げられない場合が多い。収益を抑えた旅行代金を設定するため、申込人数が増加しないと収益が確保できない。しかし、この先も劇的に旅行需要が増える要素は見当たらない。
通信会社（企画担当）	・変化が何に起因するものかはわからないが、節約一辺倒のムードから抜けだして、安定してきているように感じる。
通信会社（営業担当）	・時期的には、3か月では変化はない。
テーマパーク（職員）	・地元の自動車道沿線のスポットでは、話題性のある大型の誘客材料がない。
観光名所（案内係）	・特に良くなる理由が見つからない。
ゴルフ場（企画担当）	・6、7月は梅雨の時期だが、ゴルフ場の入場者予約数を見ると、しばらくの間は概ね順調に推移する。
その他レジャー【スポーツレジャー紙】（広告担当）	・一部の人のみで景気が良いのがアベノミクスである。
美容室（経営者）	・客との仕事関係の話では良い話は聞かず、明るい話題もないので、経済の状況はこのまま変わらない。
その他サービス【介護サービス】（職員）	・減少傾向にある仕事の代替を探すには、半年以上の時間が必要のため、業況が良くなるには相当期間がかかる。
設計事務所（職員）	・客が、数年前よりも家の材料等に少し良い物を選ぶようになり、少し余裕が出てきていると思うが、そのくらいでは、まだ業界全体で景気が良くなっているとは言えない。
住宅販売会社（従業員）	・現状では前向きな客が少ない。今後も、後押しになる施策はないため、変化の少ない月が続く。
その他住宅【不動産賃貸及び売買】（経営者）	・広告への反響、来客数等、例年と比べると思ったほどは下回っていない。
やや悪くなる	
コンビニ（エリア担当）	・周辺の大きな工場や下請工場の稼働率が落ちているので、来客数にも影響が出始めている。また、競争店が出店するという情報もあるので、先行きは厳しくなる。
衣料品専門店（販売企画担当）	・この時期に数量が伸び悩むと、先行きの販売量が落ち込む傾向がある。
乗用車販売店（従業員）	・足元の状況がしばらく続くような雰囲気である。各社が新型車種を出せば、全体的に客が動く図式は今までと変わらないが、以前よりも動く数が限られているので、先の見えない厳しさが続く。
乗用車販売店（販売担当）	・3、4月とエコカー減税が段階的に縮小され、7月からは2%の車両本体価格のアップを予定しているため、厳しくなる。
その他専門店【書籍】（店員）	・例年、動きが悪くなる時期に入るため、売上は落ちてくる見込みである。
その他飲食【仕出し】（経営者）	・株価の上昇等、全体的な雰囲気は良くなっているが、消費税の増徴税といった将来的な不安要素が心理面に影響し、支出は引締め傾向となる。
観光型ホテル（販売担当）	・前年は、開業記念周年で打ち出した特別宿泊プランが当たって集客増加となったため、今年はその分減少し、前年よりは悪くなる。ただし、一般宴会の受注状況が良いので、全社的にはカバーできる見込みである。
都市型ホテル（従業員）	・予約数の動きから、先行きはやや悪くなる見込みである。
通信会社（サービス担当）	・引越しシーズンが終わることと、工事費割引キャンペーンの終了で新規申込が減る。
パチンコ店（経営者）	・低単価傾向と大手の寡占状態が続く。

		理美容室（経営者）	・客との話で、給料も思ったよりは上がらないので、徐々に景気は悪くなっていく。
		美容室（経営者）	・今のところ、明るい先が見えない。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・メーカーの新商品発表のサイクルが短くなり、投資がかさむ一方で、市場価格は下落しているため、投資回収も徐々に大変になってきている。
		設計事務所（職員）	・政策的に、アベノミクスは一般国民に対しての効果は出ておらず、消費税率の再引上げに向けて、先行きの懸念がある。
		住宅販売会社（従業員）	・下請業者の仕事量は減っていないが、3か月先を見越した受注残があるほどには見えない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・同業者で夏のボーナスの話になると、まだ、支給額のアップは難しいと口をそろえており、良い方向に向かっていているとは思えない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・これから8月に向けて閑散期になるので、暇になる。
		理容室（経営者）	・財布のひもは固くなるばかりで、景気が良くなるとは思えない。
		住宅販売会社（経営者）	・客は住宅購入については慎重であり、今後もこのような状況が続くであろう。
企業 動向 関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・大手企業を中心にベースアップのニュースも多く聞かれるようになり、中小企業も含めて、ようやく実感が持てそうになってきた。夏のボーナスに向けて、消費マインドが上向くことに期待が持てる。
		化学工業（人事担当）	・国際情勢も含めて、現在の環境に大きな変化がなければ、景気は徐々に良くなる。
		化学工業（総務秘書）	・政府、金融当局の確信に満ちた態度は期待をさせ、実際に株価という実績もあり、景気に良い影響を与える。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・急激な売上増加は期待できないものの、安定した引き合いは続いており緩やかな景気回復は続く。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・機械メーカーからの情報では、設備投資を考えている、あるいは助成金が出ることで設備投資に関心を持つ会社が多いと聞くので、先行きの景気は多少良くなる。
		建設業（営業担当）	・公共事業等が4月から新年度で始まるので、予算取りがされている事業をうまく落札できれば、2～3か月先には、仕事が確保できると思われる。
		輸送業（エリア担当）	・円安や株価高が安定している。また、米国景気が好調である。
		輸送業（エリア担当）	・社内での相手先単価決定への考えが変わったため、損をしてまで個数の確保には動いておらず、個数の増加が利益の増加となっている。
		金融業（法人営業担当）	・ガソリン価格の低下等から、家計の負担が軽減しており、日常の消費支出に対するマインドが少しずつ改善しつつある。
		金融業（企画担当）	・一般のサラリーマン世帯で財布のひもが緩み始めると、景気も良くなってくると考えられる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・ゴールデンウィークに休みを取って旅行をする家庭が、前年より増えているので、景気は良くなっている。
		会計事務所（職員）	・株価の急落や石油価格の高騰といった、大きなマイナス要因がなければ、現状の緩やかな上昇傾向を維持すると思われる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・発注件数の増加で、案件を集約したり、客先のオンサイトではない自社開発案件に変更される動きがある。また、公共向け案件でも、システムの効率化に関する案件が増えている。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・我が国全体で経済面の緊張感が和らいでいる。原油安、円安、輸出の黒字、外国人客の増加等、すべてが好転している。何かのきっかけで調子が崩れる恐れがあるので、個々の企業としては用心すべきであり、新しい物を作り続ける必要がある。	
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・取引先の受注量が増加しないので、販売量も増加しないため、景気は変わらない。
		出版・印刷・同関連産業（代表）	・一時的には良くなってきても、続かない。小売店の業況が良くならない限り、景気の回復にはほど遠い。
		化学工業（営業）	・4月より樹脂原料の価格が下がり、当面は、ナフサ等製品原料の価格は大きくは変動することはない見込みである。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いがあっても、価格競争が厳しく、販売価格が上がる見込みはない。
		金属製品製造業（従業員）	・大型プロジェクトの関係でそれなりに忙しいと思うが、販売価格が上がっているわけではないので、収益的には厳しいと思われる。

	一般機械器具製造業 (営業担当)	・中国でのスマートフォン向け設備特需も収束しつつあるが、為替相場は円安であり、引き合いの量や金額から見て、例年並みの受注は見込めそうである。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・上半期の受注量が安定的に推移している。
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・しばらくは、先行きに大きな変化はないものと思われる。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・横ばい状態が続く中、従業員の収入や残業代にも変動がなく、消費が増加するのは少し先になると思われる。
	電気機械器具製造業 (総務担当)	・円安や株値上昇、企業収益力の向上等は大手企業を取り巻く環境変化であって、中小企業では、好調な大手企業と取引があるかないかで業績に差が出てくる。IT関連製造業では、販売先は国内のみで、特徴がない企業はとうたされていく。
	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・年単位で見ると低下傾向であるが、この2、3か月の動きとしては、それほど大きな変化はない。
	輸送業(従業員)	・一般雑貨の荷動きは、依然として前年の物量を下回る状況が続いており、景気の改善傾向はうかがえない。ドライバーを中心に、人材採用が前年にも増して難しい状況であり、他業種では雇用面で改善が進んでいる感が強く、業種間でのアンバランスな状況がしばらく続きそうである。
	輸送業(エリア担当)	・燃料となる軽油価格は、前年比で30円も下がっているが、主要荷主からは明るい話が聞こえてこない。
	輸送業(エリア担当)	・荷物の量は減少しているが、重量当たりの単価は少しずつ上昇している。経済の実態は変わらないが、生活消費資材が、実質的に値上がりしており、これは、景気が冷え込む前兆である。
	通信会社(法人営業担当)	・株値高のメリットは一部であり、広く浸透するには時間がかかる。春闘のベースアップ効果も、消費税増税の重荷がのしかかっている打ち消しとなり、購買意欲が冷え込んでいる。
	金融業(従業員)	・現在は安定しているものの、企業内でも調子が良い部署と良くない部署があり、二極化という流れで両者の動きを加味すると、景気としては、波打ちながらも横ばいの動きとなる。
	不動産業(経営者)	・この1、2か月は同程度の受注量で推移し、物件の動きは停滞する。
	不動産業(用地仕入)	・景気を大きく左右するような要因が見当たらない。
	不動産業(管理担当)	・ビルメンテナンスの受注価格が上がらない。一方、人材募集のアルバイトの時給も上がってはならず、アベノミクスの効果が感じられないため、先行きも変わらない見通しである。
	広告代理店(制作担当)	・取引先では景気の良くない企業が多いため、受注側としては、この先あまり期待はできない。
	行政書士	・貨物の動きは、現状のままで推移する。
	公認会計士	・円安による原料高の圧迫等による中小企業のベースアップが困難な状況が改善される様子は見受けられない。
	会計事務所(社会保険労務士)	・売上、利益共に好調な顧問先が多いが、特段急上昇しているわけではない。また、先行きに急上昇する要素も特にない。
やや悪くなる	窯業・土石製品製造業 (社員)	・今年に入って売上の4割を占めていた製品が、5月からは10分の1の納品でお願いしたいとの連絡を受けている。ここしばらくは残業続きであったが、先行きは残業の必要もなくなる。
	鉄鋼業(経営者)	・4～6月は、主力産業の自動車業界で生産台数が伸びない時期となり、現状を脱する環境要因は見えない。停滞から減少が予想される。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先のリニューアル工事や設備投資が一段落し、出荷量が減少する。
	輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・4～6月の販売量は足元よりも減少が予想される。引き続き円安の恩恵はあるものの、利益もやや減少になりそうである。
	建設業(経営者)	・為替相場等の要因により、景気の良い業種と悪い業種、あるいは大手と中小の企業間格の差が著しくなっており、弱者切捨ての流れを感じる。
	輸送業(経営者)	・物流においては、輸出は好調なものの、国内需要の減少に伴う輸入減で国内物量の一層の減少が懸念される。トラック輸送においては、積載効率が悪化しても便数は減らせず、収入の減少と人手不足で厳しい状況が続く。
悪くなる	窯業・土石製品製造業 (経理担当)	・新設住宅着工件数が減少傾向である。

雇用 関連 (東海)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣法改正を見越した派遣需要の活性化が期待される。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数の増加が続くことで、景気回復につながる。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数の増加により求職者の動きも活発になる。特に、新卒採用者への教育等が落ち着いた7月頃からは、派遣スタッフの活用も増える可能性がある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・新型車種の発表に伴い、生産体制が強化される動きがあり、先行きの派遣需要は、上向きに推移する予定である。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ベースアップの効果が出れば、景気回復にも希望が持てる。
		職業安定所（職員）	・中小企業のベースアップの影響が、徐々にではあるが地域経済にも広がっていくと考える。新規求人募集の際の賃金も、ほとんどの職種で前月より上昇していることから、転職活動の活性化にも影響する可能性がある。
		職業安定所（職員）	・春闘のベースアップや夏季一時金の増加による消費の拡大が期待される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・ゴールデンウィーク明けには、夏季賞与取得後の転職を検討する求職者が増えることが想定される。企業側でも、入社した新卒者の部署配属等が固まり、キャリア採用で必要とするポジションがはっきりとする。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・今年度の補助金の充実ぶりや中小企業を支援する官公庁の動きからも、今後引き続き、景気は上向きと想定される。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・人材派遣先の宴会等の予約状況が、5、6月は例年並みだが、その先はあまり良くない。
		人材派遣会社（支店長）	・求人数の減少に対して、派遣契約の成約率の向上で対応していることから、この先3か月間は、変わらない水準で進んでいくものと思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・製造業におけるエンジニア不足は、まだまだ続く見通しである。
		職業安定所（所長）	・前年4月の消費税増税の影響も薄れ、中小企業の中でも、ベースアップが少なからず出てきている。しかし、消費税増税分を上回る3%以上は少なく、消費の面では増税の影響が残り、横ばい状態が続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・求人数も求職者数も横ばい状態が続いていて、上にも下にも方向感が定まらない。
		職業安定所（職員）	・プラス要因としてはベースアップが、大手から中小企業にも広がる動きがある。マイナス要因については、大手企業は好調であるが、下請の中小企業では、仕事は増えているが円安による材料費の上昇等で厳しい状況が続く。そのため正社員よりもパートを中心とした求人となる。
		職業安定所（職員）	・人手不足感のある福祉・医療、建設業等では求人があるものの、採用が追いつかない状況にある。卸・小売業や飲食サービス業では求人が減少する等、一部において弱い動きもあり、雇用情勢については、改善傾向が続くものの、注意が必要と思われる。
		職業安定所（職員）	・前年同期比で見る求人数は減少しているが、求職数も減少している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・学生が就職活動に利用する卒業見込証明書や成績証明書等の発行依頼が前年よりも早くなってきており、採用活動の活発化が予想される。
		その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	・この先半年くらいは、状況にほとんど変化がない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・求人案件に対して提供できる人材不足が顕著になり、企業の生産性に影響する可能性がある。
	悪くなる	-	-